

### ■背景

本市では、築年数等を基準として、全ての小中学校の建替えを計画的に進めるとともに、「最適な教育環境の構築」や「安全・安心で質の高い教育環境の整備」を具現化するため、令和2年度に「市川市学校環境基本計画」を策定した。

宮田小学校は市内で最も築年数が古く老朽化が進んでいることから、この計画の下、最初に建替えを行う学校であり、建替えの前提条件となる基本構想・基本計画の検討を始めた。

### ■課題

「市川市学校環境基本計画」の下、新しい時代に求められる学校教育の在り方を踏まえた施設を整備するとともに、Society5.0の到来や環境問題、新型コロナウイルス感染症の影響から、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、社会全体のデジタルトランスフォーメーションの加速や脱炭素社会への転換など、近年の急激な社会情勢の変化を踏まえた新しい時代に求められる学校施設を整理する必要がある。

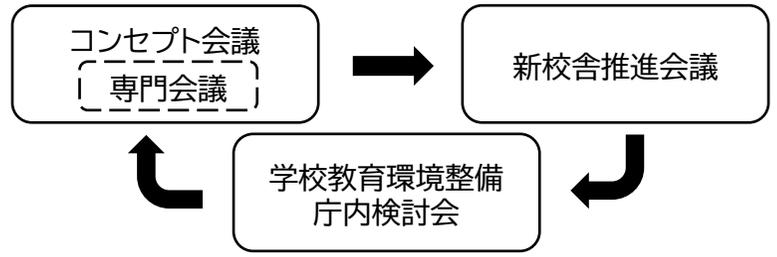
### ■検討の経緯

#### (1)検討体制

学校に通う児童や保護者、地域住民、教職員など、学校に関わる様々な立場の方からの意見を聴き、十分な理解と協力のもとで進める必要があり、宮田小学校コンセプト会議及び宮田小学校新校舎推進会議を立ち上げ、宮田小学校建替えの基本構想・基本計画で定める、学校のコンセプトや整備方針等について検討、整理をした。

また、近年の社会情勢の変化により、更なる検討の必要が生じた、デジタルトランスフォーメーションとカーボンニュートラルに向けた学校施設の整備についても、専門的な知見を頂きながら協議するため、建築計画、教育・ICT、建築環境の有識者を交えた専門会議で協議調整をした。

更に、市の公共施設等の在り方や管理を示した「市川市公共施設等総合管理計画」との整合を図るとともに、計画的に整備を進めるため、適宜、市長部局及び教育委員会事務局で構成される学校環境整備庁内検討会で協議調整をした。



### ■周辺環境

宮田小学校は市の中央部、JR市川駅から約250mに位置する。当該地区では、市川駅南口地区市街地再開発事業など、商業機能の充実と都心居住機能の確保を推進し、多様な世代が豊かに暮らすことができる街づくりが進められている。



#### (2)検討スケジュール

年月	協議調整の経緯
令和2年7月	宮田小学校新校舎推進会議設置
	児童・保護者・教職員に建替えに関するアンケートの実施
8月	第1回新校舎推進会議開催
9月	児童に建替えに関するワークショップの実施
	第2回新校舎推進会議開催
10月	第3回新校舎推進会議開催
11月	第4回新校舎推進会議開催
令和3年3月	第5回新校舎推進会議開催
8月	文部科学省「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」委託契約
10月	第1回 専門会議
	第2回 専門会議
11月	第6回 新校舎推進会議
12月	第3回 専門会議
令和4年1月	第7回 新校舎推進会議
3月	第8回 新校舎推進会議(書面開催)
	定例教育委員会会議(基本構想・基本計画の策定)

※コンセプト会議及び学校教育環境整備庁内検討会は適宜開催

※   文部科学省委託事業の範囲

### ■宮田小学校における施設整備の在り方

#### (1)学校整備コンセプト

児童等の要望を踏まえ、学校整備の軸となるコンセプトを設定した。

- 《Healing》  
日当たりや通風に配慮した快適な環境、自然に触れる機会の創出
- 《Gravity》  
人をひきつけ、交流を生む場の創出
- 《Condensation》  
必要な機能を効率的に配置した上で、宮田小学校らしさを創出

#### (2)近年の社会情勢の変化を踏まえた施設整備の在り方

社会情勢の変化に対応しながら、これからの時代の担い手として必要な能力の育成に寄与する学校づくりの在り方を整理した。

- 《自分に適した学習スタイルを選択できる学校づくり》  
多様な学習スタイルに対して、柔軟に使える施設整備を行うとともに、家庭では出来ない体験を実現できるよう魅力ある施設を整備
- 《脱炭素化された施設を体感し、生きた環境学習が行える学校づくり》  
二酸化炭素排出量実質ゼロの施設整備・運用を目指し、その取り組みを通じて、子どもへの環境学習と、保護者や地域住民の環境に対する意識の向上を推進

### ■宮田小学校 基本計画

- 《普通教室の計画》  
多様な学習スタイルに対して柔軟に使える広さと機能を持つ施設を計画
- 《オープンスペースの計画》  
主に学級活動で使用し、普通教室の役割の強化(学習の場)や補助(生活の場)を行う施設を計画
- 《図書室の計画》  
空間や機能を他の空間と関連付けて配置し、普通教室にはないICTを活用した学習や調べもの学習等が行えるメディアセンターとして計画
- 《子ども達の環境学習に寄与する施設整備》  
授業に活用ができ、学習カリキュラムと連動するような施設を計画

#### ・イメージパース



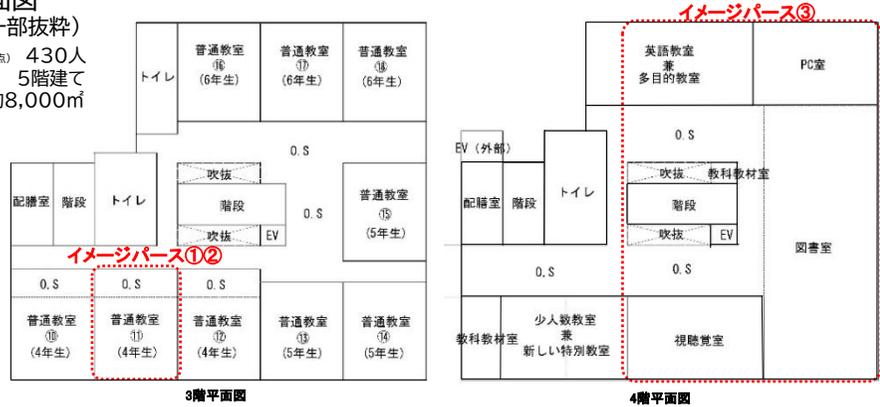
①普通教室廻りの計画(学習時)  
普通教室とオープンスペースを関連付けて配置し、多様な学習に柔軟に対応できる広さと機能を備えた施設を計画



②普通教室廻りの計画(休み時間)  
休み時間にもオープンスペースを活用し、児童が思い思いの休み時間を過ごせる施設を計画

#### ・校舎平面図

(案1-2を一部抜粋)  
児童数(R4.1時点) 430人  
階数 5階建て  
延床面積 約8,000㎡



③図書室廻りの計画  
図書室とその他特別教室を関連付けて配置し、メディアセンターを計画



④体育館の計画  
太陽光発電や日射調整のルーバー等を計画

なお、この配置案は想定される施設の規模を把握するための参考図になります。各室の配置など具体的な計画については今後の設計で検討を行います。